

## 令和5(2023)年度決算と経営戦略収支計画比較

会計名 工業用水道事業

(単位:百万円、収益的収支は税抜表示、資本的収支は税込表示)

## (1) 収益的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	料金収入	491	491	521	30	・料金収入は、特 定供給水量の増に よる増
	その他収入	94	141	129	35	・その他の収入 は、一般会計から の負担金収入増 加により増
	計	585	632	650	65	
支 出	人件費	56	65	49	▲ 7	・その他支出は、 資産減耗費の減に より減
	減価償却費	230	225	223	▲ 7	
	修繕費	11	43	25	14	
	その他支出	274	269	240	▲ 34	
	計	571	602	537	▲ 34	
経 常 損 益		14	30	113	99	

剰余金残高	563		923	360	
-------	-----	--	-----	-----	--

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

## (2) 資本的収支

		計画額 A	当 初 予算額	決算額 B	B-A	備考
収 入	借入金	0	0	0	0	・その他収入は、 太陽光発電の増 設等に向けた設計 業務委託に伴う国 庫補助金の増
	その他収入	0	1	2	2	
	計	0	1	2	2	
支 出	建設改良費	681	91	83	▲ 598	・建設改良費は、 工事内容や工事 期間の見直しによ る減
	借入金償還金	70	0	90	20	
	その他支出	0	95	0	0	
	計	751	186	173	▲ 578	
差 引		▲ 751	▲ 185	▲ 171	580	

借入金残高	1,927		1,887	▲ 40	
-------	-------	--	-------	------	--

## 経営指標による経営状況

	収益性				安全性		老朽化の状況		
	経営資本 営業利益率	営業収支比率	料金回収率	経常収支比率	流動比率	自己資本 構成比率	有形固定資産 減価償却率	管路経年化率	管路更新率
	・経営資本でどれだけの営業利益を上げたかで、高いほど良好	・営業活動の能力で、高いほど良好	・給水費用が、どの程度給水収益で賄えているかを表す指標	・経常的な企業活動の効率性で、高いほど良好	・短期的な支払能力で、高いほど経営基盤は安定	・総資本に対する自己資本の割合で、高いほど経営基盤は安定	・償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標	・法定耐用年数(40年)を超えた管路延長の割合を表す指標	・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標
	(単位: %)								
令和元年度決算値	0.24	102.72	110.24	122.18	823.41	86.63	66.25	0.00	0.00
令和2年度決算値	▲ 1.97	81.98	102.03	114.82	1,288.01	87.35	65.44	0.00	0.00
令和3年度決算値	▲ 3.45	72.43	93.06	109.26	1,363.28	87.60	66.55	0.00	0.00
令和4年度決算値	▲ 0.32	96.61	104.87	121.16	1,742.62	88.16	68.44	0.00	0.00
令和5年度決算値	▲ 0.32	98.54	104.82	121.12	1,949.46	88.62	69.99	65.53	0.00
全国平均(令和4年度決算値)	-	101.12	95.67	111.03	549.67	73.92	59.87	56.59	0.24
説明	<p>営業収益及び費用は概ね前年どおりとなり、事業の収益性を示す経営資本営業利益率、営業収支比率、料金回収率、経常収支比率の4指標は総体的に良好な状態を維持しており、経常利益が確保できていることから経営状況は概ね健全であるといえる。</p> <p>また、経営の安全性を示す自己資本構成比率、流動比率は、全国平均を上回っており、経営基盤は安定しているといえる。</p> <p>一方、有形固定資産減価償却率では、償却資産の減価償却が5割を超えて進んでいるが、日頃の保守点検によって各資産の劣化状況を把握し、更新計画に反映させながら順次更新に取り組んでおり、特に問題はない。</p> <p>また、管路経年化率に対して管路更新率が低いのが、これについても、管路の劣化調査の結果や(公社)日本水道協会による研究結果等を基に標準使用年数(60年)を設定して更新することとしているため、特に問題はない。</p>								

※ 営業収支比率: 単年度営業収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 料金回収率: 事業に必要な費用を給水収益で賄えている状況を示す100%以上が必要

※ 経常収支比率: 単年度収支の黒字を示す100%以上が必要

※ 流動比率: 短期的に支払うべき債務を支払える現金等がある状況を示す100%以上が必要

## 工業用水道事業 目標の達成状況

## 1 財務面に係る評価

## 目標の達成状況

	【目標】 毎期、経常利益を確保し、健全な運営を確保します。
決算値	113百万円
評価	A
評価に係る説明	目標どおり経常利益を確保したため、A評価とした。

## 2 事業面に係る評価

## (1) 目標の達成状況

	計画業務量 (年間基本供給水量)	設備の故障等による 計画外給水停止件数	需要拡大に向けた PR活動件数
目 標 値	R5年度 8,930千m <sup>3</sup>	R5年度 0件	R5年度 100件
実 績 値	R5年度 8,984千m <sup>3</sup>	R5年度 0件	R5年度 218件
評価	A	A	A
評価に係る説明	目標を上回る年間基本供給水量を達成したため、A評価とした。	目標どおり、計画外給水停止を発生させなかったため、A評価とした。	目標を上回るPR活動を行ったため、A評価とした。

## (2) 取組実績等

※下線は新規事項

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
ハード・ソフト両面の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3～R5)</li> <li>▶<u>薬品注入設備更新工事(R5～R8)</u></li> </ul> </li> <li>○耐震化の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶管路施設耐震化等検討会の開催(5月、10月、11月、2月)</li> </ul> </li> <li>○感染症対策等の徹底とBCPIに基づく業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進</li> </ul> </li> <li>○実践的な防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶災害対応訓練(地震)の実施(6月)</li> </ul> </li> <li>○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶工業用水道災害相互応援備蓄資機材表等の提供(関東地域における工業用水道災害相互応援に関する協定における幹事事業体)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○設備更新計画等に基づく設備の更新 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶1系排水処理池汚泥掻寄機更新工事(R3～R5)</li> <li>▶薬品注入設備更新工事(R5～R8)</li> </ul> </li> <li>○耐震化等の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶管路施設耐震化等検討会の開催</li> <li>▶<u>管路更新の検討</u></li> </ul> </li> <li>○感染症対策等の徹底とBCPIに基づく業務継続体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶時差出勤やテレワーク、Web会議の推進</li> </ul> </li> <li>○実践的な防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶災害対応訓練</li> </ul> </li> <li>○応急復旧体制の強化 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶工業用水道災害相互応援備蓄資機材表等の情報提供(関東地域における工業用水道災害相互応援に関する協定における幹事事業体)</li> </ul> </li> </ul>
とちぎのものを支える産業基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業ニーズの把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶鬼怒工業用水協議会を開催(8月)</li> <li>▶鬼怒工業用水受水企業担当者会議を開催(10月)</li> <li>▶受水企業訪問の実施(1月～2月)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○企業ニーズの把握 <ul style="list-style-type: none"> <li>▶鬼怒工業用水協議会の開催</li> <li>▶鬼怒工業用水受水企業担当者会議の開催</li> <li>▶受水企業訪問の実施</li> </ul> </li> </ul>

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
経費削減や需要拡大による財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ターゲットを絞った営業活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶工業用水需要拡大に向けた検討班会議を開催(8月、3月)                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・未給水区域の企業に対しアンケート調査を実施</li> <li>・給水施設等への費用補助について庁内で検討</li> </ul> </li> <li>▶芳賀第2工業団地立地企業等に対する営業活動</li> <li>▶需要拡大に係る情報収集                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな産業団地開発等の情報を収集し、工業用水供給の可能性を検討</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ターゲットを絞った営業活動               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶工業用水需要拡大に向けた検討班会議の開催                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・受水企業の定着及び新規企業の開拓</li> </ul> </li> <li>▶需要拡大に係る情報収集</li> </ul> </li> </ul>
組織力の強化	<p>栃木県企業局技術職員人材育成基本方針に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人材育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶職位別研修体系に基づく研修の実施</li> </ul> </li> <li>○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶局内水道技術者研修会の開催(2月)</li> <li>▶日本工業用水協会等の研修会参加及び資格取得支援(危険物取扱者等)</li> </ul> </li> <li>○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶OJTによる技術継承</li> </ul> </li> <li>○業務に必要な人材確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶再任用等職員の配置(2名)</li> <li>▶採用の周知を図る取組み                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・工業高校訪問(9校)による工業用水道事業/水道事業の魅力等のPR</li> <li>・現場見学会の開催(12月)</li> <li>・技術職インターンシップの受入れ(小山工業高等専門学校等4名、8月)</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>	<p>栃木県企業局人材育成基本方針に基づく取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人材育成               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶職位別研修体系に基づく研修の実施</li> </ul> </li> <li>○職員の技術力向上や業務に必要な資格取得の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶局内水道技術者研修会の開催</li> <li>▶日本工業用水協会等の研修会参加及び資格取得支援</li> </ul> </li> <li>○デジタル技術の活用とOJTによる技術継承の推進               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶OJTによる技術継承</li> </ul> </li> <li>○業務に必要な人材確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>▶社会人経験者の積極的な採用及び再任用等職員の計画的な配置</li> <li>▶採用の周知を図るため、以下の取組を継続                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学や工業系高校訪問による工業用水道事業/水道事業の魅力等のPR</li> <li>・技術職現場見学会の実施</li> <li>・工業系高等学校のインターンシップ受入れ</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>

経営方針	令和5(2023)年度の実績	令和6(2024)年度の実績予定
<p>SDGs 達成への貢献</p>  <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう 8 働きがいも経済成長も 13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>○環境負荷低減(温室効果ガス等)に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶<u>太陽光発電設備の新設に向けた詳細設計業務委託を実施</u></li><li>▶資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用(上・工水合計:617t)</li></ul>	<p>○環境負荷低減(温室効果ガス等)に貢献</p> <ul style="list-style-type: none"><li>▶<u>太陽光発電設備の新設</u></li><li>▶資源リサイクル推進のため、浄水発生土を資源として有効利用</li></ul>

## 3 総合評価

自己評価等						
1 財務面に係る評価 目標の達成状況 ・目標どおり経常利益を確保した。		(2)事業の取組実績等 ・薬品注入設備更新工事等を適切に実施した。 ・地震発生時を想定した訓練を実施した。 ・工業用水需要拡大に向け営業活動等を着実に実施した。 ・太陽光発電設備の導入に向けて詳細設計業務委託を実施した。				評価
2 事業面に係る評価 (1)目標の達成状況 ・計画業務量及びPR件数は目標を上回り、計画外給水停止は目標どおり(0件)となった。						A
評価委員会の評価等						
【財務面】 経常利益を確保し、目標を達成した。						評価
【事業面】 年間基本供給水量、計画外給水停止件数及びPR件数のいずれも目標を達成した。						A
【取組実績】 薬品注入設備更新工事、実践的な防災訓練等、ハード・ソフト両面の強靱化の取組が図られているほか、太陽光発電設備の導入を進める等、環境負荷低減に取り組んでいる。						
	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	
自己評価	A	A	A			
評価委員会の評価	A	A	A			

今後の取組課題・改善点等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な料金設定による収入の確保や効率的な工事実施等による経費削減を行い、財務基盤の強化に取り組む。</li> <li>・安全で安心な工業用水の安定供給を図るため、計画的な設備の更新や実践的な防災訓練を実施し、ハード・ソフト両面の強靱化に取り組む。</li> <li>・受水企業の定着促進と併せ、工業用水の利用が見込める企業などターゲットを絞った営業活動を実施し、新規需要の開拓に向け取り組む。</li> <li>・持続可能な社会の実現に向けて、工業用水道事業を通じたSDGs達成に貢献する。</li> </ul>						

## ○ 収支の状況

## (1) 収益的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	料 金 収 入	計 画 額		492	491	491	491	499
		当 初 予 算 額		492	490	491		
		決 算 額	508	512	513	522		
	そ の 他 収 入	計 画 額		366	95	94	94	89
		当 初 予 算 額		365	142	141		
		決 算 額	288	279	139	128		
支 出	人 件 費	計 画 額		65	56	56	56	52
		当 初 予 算 額		65	49	65		
		決 算 額	35	73	38	49		
	減 価 償 却 費	計 画 額		222	229	230	222	234
		当 初 予 算 額		222	230	225		
		決 算 額	211	219	221	223		
	修 繕 費	計 画 額		40	27	11	46	21
		当 初 予 算 額		40	40	43		
		決 算 額	48	23	24	25		
	そ の 他 支 出	計 画 額		504	262	274	237	267
		当 初 予 算 額		502	268	269		
		決 算 額	400	409	255	240		
経 常 損 益		計 画 額		28	12	13	24	15
		当 初 予 算 額		28	45	30		
		決 算 額	102	67	114	113		
剰 余 金 残 高			629	696	810	923		

・平成28年度からの積み上げによる(剰余金の処分は考慮しない)。

## (2) 資本的収支

(単位:百万円)

			令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
収 入	借 入 金	計 画 額		0	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		0	0	0		
		決 算 額	0	0	0	0		
	そ の 他 収 入	計 画 額		22	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		22	2	1		
		決 算 額	17	18	50	2		
支 出	建 設 改 良 費	計 画 額		343	47	681	92	43
		当 初 予 算 額		343	137	91		
		決 算 額	67	124	56	83		
	借 入 金 償 還 金	計 画 額		78	71	70	70	70
		当 初 予 算 額		77	92	0		
		決 算 額	79	77	92	90		
	そ の 他 支 出	計 画 額		4	0	0	0	0
		当 初 予 算 額		4	4	95		
		決 算 額	0	0	0	0		
差 引	計 画 額		▲ 403	▲ 118	▲ 751	▲ 162	▲ 114	
	当 初 予 算 額		▲ 402	▲ 231	▲ 185			
	決 算 額	▲ 129	▲ 183	▲ 98	▲ 171			
借 入 金 残 高			2,146	2,069	1,977	1,887		

## ○ 経営指標による経営状況

(単位:%)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
経営資本営業利益率	決算値	▲ 1.97	▲ 3.45	▲ 0.32	▲ 0.32		
営業収支比率	決算値	81.98	72.43	96.61	98.54		
料金回収率	決算値	102.03	93.06	104.87	104.82		
経常収支比率	決算値	114.82	109.26	121.16	121.12		
流動比率	決算値	1,288.01	1,363.28	1,742.62	1,949.46		
自己資本構成比率	決算値	87.35	87.60	88.16	88.62		
有形固定資産減価償却率	決算値	65.44	66.55	68.44	69.99		
管路経年化率	決算値	0.00	0.00	0.00	65.53		
管路更新率	決算値	0.00	0.00	0.00	0.00		

## ○ 財務面に係る目標の達成状況

(単位:百万円)

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
毎期、経常利益を確保	決算値		67	114	113		
	評価		A	A	A		

## ○ 事業面に係る目標の達成状況

		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)
計画業務量 (年間基本供給水量)	目標値		8,930千m <sup>3</sup>	8,930千m <sup>3</sup>	8,930千m <sup>3</sup>	8,930千m <sup>3</sup>	9,095千m <sup>3</sup>
	実績値	8,940千m <sup>3</sup>	8,948千m <sup>3</sup>	8,948千m <sup>3</sup>	8,984千m <sup>3</sup>		
	評価		A	A	A		
設備の故障等による 計画外給水停止件数	目標値		0件	0件	0件	0件	0件
	実績値	0件	0件	0件	0件		
	評価		A	A	A		
需要拡大に向けた PR活動件数	目標値		100件	100件	100件	100件	100件
	実績値		115件	148件	218件		
	評価		A	A	A		